

婦人関係資料シリーズ  
国際資料 No. 27

## 3 家庭の合理化

67

労働省婦人少年局

## 家庭の合理化

ゲルトルート、グレーブリ

一九四六年チューリッヒにおける国際協同婦人連盟会議に提出のもの

### はしごさ

婦人の地位の向上を考える場合に大きな問題となる家庭労働に関して科学的な検討が要求されていますが、この問題に关心をもたれるが故に先の参考に供するため、婦人少年局では、一九四六年七、チユーリッヒで行われた国際協同婦人連盟会議に、ゲルトルート・グレーブリ女史(Gertrud Gräbli)によって提出された「家庭の合理化」(Rationalization in the Home)と題する論文を翻訳し、資料として発行いたします。

国際協同婦人連盟は、主婦を助け主婦の仕事の整理を図る爲にはどうすれば一番よいかという問題を上るのは何より今回にはじきつたことではない。經濟的にはもちろん、社会的倫理的にも意義の深い多面的なこの重要な問題は、多くの国の婦人連の頭空多年にわたって研めておこなわれておる。

有能な批判的吉主婦達は、くり返して家庭の合理化を訴へ、家庭本國民經濟の一重要課題であるとの認識と、それ故に今一度の考慮を要するといふことを訴えてきたのであつた。機器が改良されたとき、然いらずにすむか、もと省効な前途に使われる、善の精神が、通りにも深山家の仕事の爲に浪費されてゐるのである。

### 合理的な目前技術水準

合理的に財には、最小の時間、精力、資材を以て最大の効率をあげることで、これが経済学の一原則である。従つて既に企業を合理化するとはその企業をこの原則によつて再編成することである。其の目的は労働者——今の場合主婦——の労働を削減し仕事をいくつかでより多くめのむとくし、時間、資材、器具等の節約保存率を大ると同時に生産を増加させることにある。

産業界においては家庭労働の場合と比べて合理化思想の導入が比較的難化なく行われてゐるが、それは二つのニーズが通用主と経営者の双方に同じく好都合である以上にシニシスがつづりしているからである。其の上、大工の場合は一定の品物の製造に必要な工具の数は比較的少いのが容易なのがある。これに対して家庭の場合は、次か

今更片づけなくてはならぬ住事のありに干渉才別で、合理的といふ経済原則を家庭の中にとり入れるには一見全くの不可能とも思える習である。

家庭が工場ではない事はいうまでもない。家庭は過渡上最大の意義を持つと同時に倫理上は重大な意義をもつてゐる。それは家庭というものが家族全体にとっての想いと楽しみの中止おじてはならないからだ。この点立遡する者には、主婦が十分な時間を持つて家族全員の生理的・要求をもちろん、その道徳的・精神的疼痛捕まで抱いてやれるように家庭内の運営が行われねばならない。家の外の事は向一つ関心を持たない。左左主婦であるばかりでそれ以上の荷物でもないところは、その婦人がやれて自分の家庭の問題の中に埋もれてしまふニヒは無理はない。そのうちの婦人は長い事に修理がある事にとまねはしない。すべての婦人が時の問題を知り、芸術・スポーツ、社会事業等の分野に活動するだけの時間を持つようにはねばならないのである。

考え方ばかりではない面尚更にも一つある。畢竟に男性を尊重してゐる今日の世の中は女性にしめし女の側からの影響を加えさせると喜ぶ者。私達の物の考へ方全般、私達の公共の生活は、大部が男性的な思想で支配されてゐる。私達の言語すらがに男性の努力大っぷりに強調されつゝある物語るものだ。といふのは、女性が全然欠けてゐるニヒが木更津ある事である。あらゆる種の公共生活、社会、經濟生活に対する女性の一層の進出は、従つて、あらゆる国・の婦人団体が行つた基本要求の一つである。巧みに家を整え、会議室に講義を經營するニヒが出来れば出来る程、その婦人皆大喜びで貢献し、公共生活と個人的運動の両面に於ける婦人の利益擁護の端につくすこと出来るのである。

方面はいずれにせよもとより豊富な財産を博している婦人は多い。豪華の金庫も、衛生化はこのあたり可能である。合理化が家庭婦人や請金労働の婦人にとつて、殊に工夫がよいのは明かである。

こうした女人人は、他の人達にくらべてこの考へ方をいちはやく採

入れやすくなる。それが四隅の状況が、最も複雑の二重の重荷をうきくべりに立たず家庭婦労を最も多く且能率的な方法とするニヒを実現する事が出来る。

家庭の合理化にはどうすればよいか。

#### (a) 廉価

前述の過渡原則に従つて仕事したいと考えたとするが、並に大切なるのは賃場——主婦の場合には家——が合理的に仕事の出来ようにつくられたいいる事である。毎日の仕事の行わざるセの場所次、朝元は部屋の既設など大きさすぐれでいて、最初から時間を使ひ不必要な努力を費すよりは土台には、過渡的な仕事のやり方をとり入れるニヒなど到底出来ない相談である。

困つたニヒに、建築家といふ者は得として嫌がたりの居住の場所——食べべ寝く寝しみ場所——との距離めがちで、セコが又主婦の職場でもある漸実を満足しかねである。著名なドイツの建築家J.P.オルト(Alt)自説、かつてこういったことがある。「建築家は、主婦の希望を斟酌する場合は自らの荷物にかゝる上考慮て、ニヒニました日帰の運送を観察する場合が最も立たる。」主婦にもがどん吉を運搬していくかを決するのよして次に引前くよ。

#### 部屋の大ささと配置

衛生上の理由から部屋が小さすぎることはからない。しかし台所や食事室や寝室(いわゆる休憩場)は、歩き回らずにすみ得つて瞬間が節約出来るよシ手鏡に小窓などもねねばならない。台所と食事室に並んで、主婦が皿小鉢をかゝえて何時歩も行つたりまたりせずすむセラにすべきである。台所と食事室一つの部屋にすむニヒが大変工合のよいことは多勢の人々認めている。厨房場は職場の近づいて名前は廊下と直接出られるようにしておきたい。前の段にセリには高い無駄な空間のあらわいセリにじなくてはいけない。外から児童用窓や戸口が対称につけられるがよいかかせり大きさした向題は存在しない。(3)

である。大切なのは家の中の既製が実際的かという点だ。物を求める限りはたいたりの家のベルト＝一定の汚れ仕事の範囲をした屋外の出張りや飛したのは、これ又至極機知なものである。購入するいくつかの婦産立場にためる厨房設備も大変へしくことはいはずである。方位の問題は適當の日光と日陰を部屋につくる点が何より大切である。この他の場合にも設備上着想が、必ず全体の体裁からいう理由で地向とするべきは常に絶対にきらむ。

### 家具と婦女の位置

夫婦とも、もし薄益良美の配置にせば、荷十軒未から本から化粧台のまいものである。主婦達は最も木食器条件下で動かなければならぬのが常式、このことは今日でも依然大方は眞実である。チーフルや、食器棚かまど、流しの位置はこれららの物が使われる場合の手順によるべきだ。隣附チーフルや通廊椅子、は必ずみの手標と又努力を省いてくれる。

照明は十分考慮すべくとは在らない。二方吊り流しは、主婦が洗濯物をかけ立たねばならぬ場合には、特別に明るくしなくてよい。

建築業の人々は以上の点すべてを、従来よりひととおりと大きさ考案に入れるべきである。四協同組合の建築物や住宅組合などとのすべにてついに婦人が自家の範囲を守らざるニシテ、及ひすべての公的住宅新築に参与するニシテ相対に必要な知識と心が者外にいるのもそれからニセキの事である。建築家にとって山口でとよみやうなつづらすい細部が明けて改善され日本在世界と一緒に進む主婦につけば、世間をつくと樂にとすれば樂しない立体でいろいろ腰の立つものにとまる試であり、荷が実際的かの最終的判断者は建築家ではなく夫婦主婦たるである。それ以上、もし主婦達が下図や青写真を以此て貰えるなら、改良すべき点を申出せよとも出来れば、太さの立場立ちの物の用意を説明することも正しきことのせうだ。

更に又、主婦たちは建築材料の決定に立派があつて然而べきであ

る。最初に、彼女たちの第一の溝凸は外見ではなくて、永らもするか、連れいに保てるかの点にあるからだ。この主婦の労力節減の要望を踏むべきな家庭組合連盟すらニセキ、協同組合の諸団体の精算であるが、どう私共には思えるのである。住宅協同組合は、つまるま二万家のない家族の乗り立つておる。その家が出来る限り実用的で且便利なものであるニシテは彼等自身の利益かとせむだろか。

主婦が她対応用を介しての家の仕事の無に压しつぶされることがないとしたら、それは實に立つても工具のいいニシテは立つてゐるか。ヨニシテが実際は、住む人の条件の満足や主婦の職場の合理的な設計は、沢山の新しい公的住宅の場合、決してその第一条件とはなつせいまいさうに思えるのだ。資材不足とそれと從つてのひどい建築費の騰高等はとにかく厚ヲき三の建築本不可能とするの結果である。

だからニセキ一層、回下の構造の限りで最善の住宅が出来るまつて、婦人達が力をかるいおこすニシテが必要なのである。

### (b) 器具及び機械

家庭の合理化による一つ重要な条件は便利な装置の利用である。彼の器具類が無論は動作を難したり過大に努力を強うニシテはいさう作られたりあつてはいけぬ、主婦たる者はこの經濟原理を実感で味わうのである。便利な小道具や米「器皿」とよばれる家用品は不足はない。新しいものがヒレヒレ市場に現われている。その多くは何か我が役に立ち、主婦に立つて確かに有用である。その他のものは、一見大層便利で努力の節約の如くみえるが、よくよく調べてみると沢山の欠陥が出てくる。同じニシテは機械美にせめてはまるのである。

そこで器皿とは、筋肉エネルギーの利用にとどまらずまた機械的資材の外観を変えたり改良するように作られた仕掛と解する。ところが機械とは、蒸気、電気、ガスのようす何かの動力で運轉される仕掛けと解する。すべての器皿、機械の目的は

(1) 一つつづては行く、一時に幾つもの仕事を行ふことにより、時

獨立節約すること。一人の人物が農物について一つに一つの作業を  
おこなひうが普通だから、これは主婦に比て大麥好都合である。

(2) 道具を機械化して使うなり動力を用ひるなりして努力を省く。

(3) 物資を出来るだけ有効に使う。即ち、農物を資源として全經濟上  
いくつもしくは生産の範囲はゆくする。(ビールフェルト「家庭の  
機械化と国民经济上及ぼす意義」)

高い生産コストが労力と節約する用具の一端使用が紹介している場  
合は極々ある。併しその一方で日本式の手作業と機械化が最初  
の見かけ難い點的では高い場合もなくあらうだ。時には余り細々  
分解が近似で操作がむづかしい機械の操作時間は多く少し遅り少  
量がある。時によく見に、操作を手でやつた方が早い程の操作が  
いる場合もある。主婦が水を水槽井戸桶に正しく組立てお  
ねずにはいることはよくある。本当に実用的な用具はいつも次にほ次の  
水桶水桶とは存じない。

即ち、

- 1 簡便が手頃である。
- 2 独立が叶えし。
- 3 操作が速い。
- 4 取扱いが手堅い。

本章のうち現在のところでは、以上の条件を満すといえる  
ふうな家庭用具はまだ強度がない。市場に販売される品の多くは、  
よく調べて見るより非実用的——非効率的——である。つまり時間  
や労力の節約など高い効率との結合がてんでされていきつたり、  
あるいは工具の出来りが不安だったり不満足なものだつたりなの  
である。

ここに、協同組合運動にとっての、殊に機械化運動にとっての、  
大きな任務がある。今までこれが機械化運動小冊子に口述とは云  
われない。即ちいくつかの方面で仕事に手がけられればそれを指摘で  
きる。即ち、早くも一九五八年にはスエーデン連合及協同組合(

氏)では家事改良基金 (Elder Household Fund) といふ名の基金を  
つくっている。

基金の目的は早くご実用的な家庭用具の製造(機械と機械ではない  
ものの面方)の資金提供にあつた。同団体がこの基金を用いた食達  
の一つに一九四五年的太田在流織工場の買入が狀あるが、これは  
今すこしに被同組合の主婦たちにどつて貯まつて設立つてある。

且ち本当に実用的な機械はまだ種わざからず、又なぜ現行機械  
は大こゝかども現れのむろづか。家庭用の直角や斜角節約の仕組  
は二枚板山とおりながら、なぜ五十年の大こゝか無能能で不適当か  
疑問がり立つたるゆづか。

その筈は、家庭用具の発明や製造が主として栽培と利潤に基いて  
行われるに過ぎないからだ。技術者や製造業者の大部分がさが第一  
に寄へるの故、他の農明品が主婦にどつて本当に役に立ち、主婦  
の望む点をみたすものがどうか迷はぬい、他の商品が施肥したつ  
リ儲かるからかといふ現象がある。ニクした放縦だからこそ、  
主婦達が、又主婦を代表する諸団体が、自分達の声を製造業者に傳  
へせ、本当に実用的な器具や機械が市場に出され易くなるにする  
ことが絶対に大切なのである。勿論機械組合のまゝの團体が直接生産  
まで立入る事はお一層尤づこの立場だ。これら團体の本来の目的  
は利潤の追求ではなく会員に対する奉仕にある。従つて主婦の團体、  
即ち消費者組合やその連合会などが器具等に家庭用具を製造する所  
ならば、それが機械は群石體の爲めに一括の必要を取たる  
ために生産されるのがどうか無可争い之を以觀である。選出の  
婦人会議は、協同組合の主婦達の希望が生産の橋にあたつてゐる人  
々に理解されるべき、また彼女達が生産品の壁について非常に確立  
した意旨が出来るまゝにしなくてはならぬ。

本章の構成を離れる所には、本運動は大量生産に目標をおくこ  
とを要する。本運動本牧入の多い人々だけの家庭用具を製造し、牧  
入の多い人々には公然近づけられたいは機械どものは望ましい體で  
ない。又製造ニ機械の精密性と相掛る技術的訓練を要する本牧とす

名機械的女優達では、大量販売に本多キルヒの限り手頃な価格で売  
るニヒは出来ない。

洗濯機製造に関するスエーデンの例は専門的で低廉な家庭器具  
の大量販売を行ふ上に協同組合運動がいかに適当であるかを示してくだ  
る。この構造や社員支那組合との緊密な連携のおかげで保護された  
導入がかなりあこに至る力がある。おまけに、近い将来には、協  
同組合の工場が国内だけばかりではなく輸出までの満たす商品ニヒも  
大いにおり得るの。この場合せんじた島がまず第一に外國の協同  
組合の卸部に対して輸出されるのはかかり切つた事実である。

#### (C) 仕事の仕方

家庭の合理化は、その原則が主婦の仕事の仕方についても適用さ  
れない限り、不完全である。職業はすべての主婦の皆に——誰も  
家庭の主婦たるにすむ——容易に学ぶ得ない教訓を教説べくねえ。  
私達は時刻と物質を節約しがれど、しかも困難の立派な効果をお  
る事を考へたのだった。私たちは手許におけるものを最大限に活用す  
るためにどうやって費廻を防いだらいいかを尋ねた。多勢の婦人は  
また、「仕事を便利なく計画立てることによって時間と節約する事を學  
んだ。人間は働く場合最小限の力を自然と選択し、天性の衝動によ  
つて最もやさしくてとくに、最も合理的な仕方で働くものと  
一概に考へねばならない。どこかが実験せぬことはない。観察や化学的  
的研究によれば、大きい人がきちがつた、おもしろ  
いりごとくがい運動をしている事が証明されてゐる」のである。

大抵の家では二回から四回行う。主婦の時間の大半は部分を亞めて1日洗濯物は、  
いかに人間が仕事をするにあたつてよくすちがつたやり方を選ぶ力の殊に顯著の一例であ  
る。

即ち、洗れた食器は左手で左側からとり、右手で流し、それから左の手で左側におけ  
ば仕事はすつと樂になることは明らかである。一つ一つの場合には皿を左手で振おうと右  
手でしようとも餘分な手作業が増り、手筋。

しかし、世界中の何百万何千万といふ主婦たちが手の使い方をきちがい、その結果し  
じゆう黒歴に体を疲れさせている事は考へてみると、血流の正し

い方法が本当はどのかきめておくのは値打のあることと想ひ況  
て必要である。すべて労働は筋肉エネルギーの無駄な消費を一切  
なくした形で遂行されるべきである。人々々の主婦がまちがつた  
やり方から始めて正しい方法を發見して行かねばならぬ道程は盡  
さんとこにもないのである。家のどの仕事をしたところぞ、その一  
番良い方法を最初から教えてもらつていいほい訳がどこにある?  
急入な調査研究の末にこれを最も能率的と専門家が折紙をついた  
方法を、家庭科の学生が出だしから教えてもらつていい訳がど  
こにあるだろうか?更に又主婦たちがこの問題について答謨や指  
導をうけるのはそこがる大功なことである。

#### 家政は商売ではない

「稼ぎ」をあげなくともよろしい。その一方、経済面においては  
家政が商売の諸原則に従ひねば麻うない事も当然自明であつてよい  
のである。原則の一つは計画性といふことだ。時間、金銭の両方に  
關して、主婦はあらかじめ考究を計画しておかなければならぬ。先  
だつ計算が何一つ失したその時々の気きぐれに金が使われるよう若  
いとでは家の合理化は到底できない。はいつぐくる分以上では使  
えないものであるから、予算を立てることは絶対必要だ。注意深い計  
画と、さまざま用途を極端にかけてみる考量があつて、はじめであ  
りがたくもないギヨツとする体験もしないですが、しかもこれにモ  
として非「合理的」というのは主婦として自分の時間の計画を立て  
ないことだ。一週間毎の計画を守り通すのは時として困難であつたり不可能で  
ありたりするにしても、頭の中だけにしろ書いておくにしろ毎日、或は毎  
週、自分でやり上げたいと思う仕事が何かはつきりとつかんでおく  
ことは主婦たとてやはり大きく役立つのである。そこで真正に合理化され家庭においては慎重に立てた計画に沿つて行くことによ  
り課目的な活動はさけられるにちがいない。

こゝに協同組合運動は鍵を入めるべく大きな仕事の分野をみるの  
である。雑誌紙、パンフレット等の他の手段を通じて家をおさめて

い以上に最も実際的なやり方を主導的立場に於ける事が出来る。協同組合は全国の社会福祉を司らすものであり、家庭の生活水準向上を目的としているのだからこの種サービスを提供する事は当然である。組合の日々の業務は物価や今迄に勢力のある労働法規などに関する事と連絡して行われてゐる爲に、どうすれば協同組合あるものが本来は主婦達の団体であり、しかもその機能は高物の生産分配だけではあるが家庭の問題を解決する事もあらざる。これらの組織は、さきまでのやり方を以つて、加入している家々に責任を負ふ訳なし、又それがなくてはならぬ。

家庭の合理化の為に手帳を与え教育を行ふ事は二つの団体が互に得る重要な活動手段の一環目に過ぎないのである。

この点に関してはヨーロッパの全国ペルドヒレゴも、その他の全国連合会に対して意見を提出してしかるべきであり、更にヒュンザウル最上等に於ける仕事かねるか会員を指導監督する方法を自ら端出しうまくしめるべきである。コムサ把が協同組合の婦人たが一人を代表組合の一員親しく繋びつくることより、相互扶助の原則も深く確立される。

協同組合團体は自らが多くの自主團体であることを世に示すニ上あるし、原則として何と直接の宣傳価値がなくとも本宣傳を構する二点に亘り、よい印象を大眾に与えるに適い無い。それは、コムサするニ上に亘りて、これらの團体が眞の「奉仕精神」があることを世に示すからである。

### 合理化への道

以上の言に亘りて協同組合が家庭に合理化をもたらす上にどれ程の独立性をもつて来たか示したニ上思ふ。ところで専門組合は又、主婦を苦役から救う手助けを與える、んで代がどの團体にも及ばず、有利の立場に立ちつゝのである。協同組合の活動は家庭と並んで家庭に繋がっているので、實際上家庭の全領域内にわたりて助力がで

きるのである。

### (2) 現在の事業 (National Unions/Local Societies)

各國の全國連合会、地方支部ともにかなり活潑な仕事をして来ており、幾ヶ国では非常に好調な癡り出しが見られる。スエーデンはすこぶる優秀な業績を幾つか挙げて先導の位置にある。

一例をあげると、主婦の体育の場の用意がある。全国にわたりて講習会があり、婦人達は、家の仕事では必ず得る事の多い片手さつた肉体の使用を体操にてつて矯正することを教示される。コンクールが企画され、主婦の場の集団保健保険試験協同組合の援助下に出来上つたりした。連合組合の出版部では、「栄養」と「婦人の世界」「統計的計画」「兒童食」「脚の体操」等いつた家庭もとの問題を巧みに扱つた面白くて篇に見る小冊子を出している。殊に有益な事業はストックホルム支部組合がやつてゐる家政婦組合で、これは手帳の料金を一時的妊娠事の手帳を手配してくれるものだ。子供の世話を立てたり、主婦の留學には奨学金を貸したりして、娘は又いる時だけ時間当めに預いてくれるニから家政婦は意外に訓練の行き届いた有能な人達である。身体検査を受けさせて、自分の余存の資格を持つた者であると示す特別のエプロンと徽章をつけている。定期的体操は毎月が時々りくらか稽古したいといふ女の人にとってこの仕事はまことにうつてつけである。この点に定期的稽古で費用が取られるといふことは、女中等は水を飲む際に水折から過度な水の主婦たちにとつての大変な福音である。

ベルギーでは戦前はギルドは保健運動を組織して、その講演や展示会によつて栄養の知識を主婦たちに与えた。

スイスでは伦々の支部組合が器械器具を入手してそれを会員が手帳の料金で借りて来るようとした。このうちには金庫等の置封に用ひる装置があつた。スイスの組合本部家政講座では面筋食制や石けん製品の最も上等の最も經濟的な被用法について講義や実演を行つた。此に引き取た名簿の数はリーフレット形式に則つて講義の出席

着全部にくばられた。

#### (6) 家事相談所

米国やオーストリアには手工業労働者の為、又時としては主婦たちの為に相談所を開いている銀行がある。主婦はそこで、収入をどう計画したらよいか相談に乗つてもらえる訳で、相談は長い眼では銀行の渠になるからというので無料である。

スイスの大ガス会社中相当数が相談部を設けている。経験を積んだヨックが定期的に講義してくれると、或者は個別的に栄養問題について、食物の調理について、又食事の保存と利用についての相談に乗つてくれる。殊に最後の二つの項目については、特別の時間に電話と口頭の両方で答えてくれる。駆されゝは現場での相談の為、駆まで来てくくる。ガス会社がやつているサービスのもう一つは「お独立電話」である。これは至まつた番号のダイヤルを廻せば季節と呂物の出さかりに応じて食事の献立の案を主婦に教えてくれるものである。

農民団体ではひゆゆる技術顧問をもつてゐるが、これは農家の主婦を駆ねてさまざまな農家の仕事、農家及附属建物の建て方や農産物の改良などについて教えてくれる。

協同組合でも家庭の顧問をやつて、特別の相談時間とか又は必要なら自分自身の家で、会員が利用できるようにするべきだという者はほことん左もである。ここで私がもう一ぺんはつきりと申上げたいことはこうだ。即ち、仕事をやる上で又手許の材料を最善に活用するまでの最良の方法を主婦の一人一人がみつけ出さねばならぬ、いとしたらそれは時間と労力の非常な浪費である。各々の家庭が何が最良の方法で何が最良の製法かを、毎年の科学的しかも実際的な経験の累積から学ぶことができ、從つて最初から時間と資材の無駄を省くことができたら、それは國家的見地から見て確かに経済的な點なりである。そうして便を提供することによつて協同組合は会員に多大の貢献をなし、会員を一番親しく組合に結びつけることができるものである。

#### (c) 地域活動

この江南の簡素化が云われる度毎にいつでも、個々の民族が朝々が經濟単位にどきつていて、そのかどかが向國にある。集団的生活の方があつてづつと實際的ではせがろうかといふのが、

例えば一炊事場制農園組織、つまり中央炊事場、その他共同生活体制を具現化一連のホテルのほかなるのを推進する提案には筆を欠がない。フーリエ米人は彼の"phantom cities"でそれした共同生活構造にわたつて描き出した。他の国の様子古今東西との結果としての高い能率と經濟はすばらしい根本性上云々と思ふ人が裏切らるゝである。東洋組織の家に棲て、大抵の炊事場で食べさせてもうつたからずつと經濟的にいくには違ひあるまい。他の国から人々からすれば主婦の活動はすべてが全く、時間と金と努力の無駄ばかりといふものだ。人間が幸福を好み共同生活の欲求をもつてゐる事実についてはたしかに山ほどある。ロビンソンクルーソー助生存はむかしいのである。しかしもかからざる一方では誰しも太個人として樹けるような領域の必要性を感じてゐる。しかも社会が繁榮するためには強度に発達した個性をもつた人が必要なのである。「二十七個人とは、十分に密接し十分に均衡のとれた人を意味するのである。そのまゝは個人こそ、あらゆる眞の、眞善善の基本分子たらねばならない。」(C.O.Jaitho: 農落農園より英語訳文)米穀競争

フランス、シャルル、マリー、カーリエ(ノラクエヘノリック)フランスの社会主義者としてオーエンゼサン、ショエンヌ並び称せられる人。当時の商工業的社會を否定して一種の農村難民社會を推進した。この社會の經濟單位は Phalanges と云はれて1600人以下の者。これをせられ一つの phalanx をなす共同家屋に住むのである。しかしこの理論は遂に現実では空を結ばずに終つた。廿世紀人が希求している、又セラフは個人としての機能が果せられるべき領域とは彼の家業なのである。今日の規則と均一性の世の中では、又が境外をあらわに出来る、カナジスなどほとんどない

といつてよい。工場などなければ事業でない、個人商店等の最も重要な分子であるといふことを説明する。自分の家の中では、世界中五一番目に本人用にすら洗濯機をいやがいもあらへる事も出来れば砂糖をたべる事だけ好んでさりと出來るのではないか。人は誰しも自分の母性をよくに暮し自分の好み通りの事をし構の人のやうのと全く違ひまることをしたって何もないよから環境に仕事の单调並々上りかえられる事の機會がなくてはいられないのだ。人は精神をすりへらす程々しかも日々の体調から直ちかつて休むる母恩の場所が要るのみである。歴の国に做った共同洗濯場設置は共同家庭はこの最後の互聯性を彼から奪ふものである。その上、共同生活は家族の結合力を破壊する。第二次世界大戦は、民族制の復讐と民族各員獨立論が精神的経済の意義が世界の瓦解をもたらした心理的要因の一つであつた事を教えたのではないか。又イスでは家族大団結の基礎であること、国民の家族生活が一旦壊さればほかある國家が健全とはあり得ない事がつねに諭諭して喝えられてゐる。

以上もこゝは、従つて一家庭の合理化を極端に主張め、二の遜消原則を何ぞ何でも実現しよとしてはあらまい。これは正に目的に対する手段であるべきだし、家庭内の苦役仕事を主婦と解放する手段であるべき本のだ。ましてそれが自体が目的となつてはならず、まして適当の度量以上に突きつことはないものである。

二の事はしかし共同生活活動を全然除外せざりうる事はない。これは家庭の社会的並に道徳的意義を損なうにせんに家庭の爲に役立つ手段となりうるものであり、そしてその無れ私どとの交接する併儀なりである。共同洗濯場は蘭の如くの一例である。大部分の婦人にとつて家庭の洗濯物は大きな重荷である。現在町や村に行わねども限りでは、それは主婦にとつて大きな肉体的苦痛だし、財政的に不經濟である。その上労力と金銭上の消費は山ほど光る金と時間である。しかし機械化された設備はひく高く、費用にあらず皆が使われる者多がない。こゝした理由から、自動洗濯機からアイロン設備一切まで揃つた十数に洗濯機械化された洗濯場が共同で使う事。

すればザコセブルガといふことである。これは大きさアパート地域百戸ほどのものは必ず前に本屋がある。けれども、一戸建の家々が洗濯機を備えつけている場所では、どうやらそれらの機械は身に附かれ在郷度はねるばかりでなくして能力はいて動くといふ事がない。おまけに、大きい場合は少しした洗濯の最少限の必要を満たのかつて、田舎の大こいの場所では、機械、洗濯の設備など全く何もない。

この次項を補う段の方策は、適当に洗濯された洗濯場を設けて、そこでは機械化設備によつて主婦が、早くしかも多くと洗濯を片付けられるようにすることである。設備が階層便われるのでかかづ一人当たりの費用は家庭で至極廉価的な設備で毎月はり高くつてはいけない。

ニコモモカスエーテンの運動はいい例を示してくれて居る。スエーテンでは共同洗濯場を設けたが、それは中央農業会の結果余分とあつた古い農耕機のあとを聞いたことが多かつた主婦は洗濯物を運んで自分で籠と洗濯物が三十ヶ所の洗濯物が、アイロン棒を食めて、午前八時から午後二時止の間に片づく。一九四四年進行の報告書によれば、主婦が自分自身で洗う場合、一キロにつき三十オール、三十五口で大タロー、一キロ(スエーテン筋)である。時間と労力の節約分を差ねれば、これは高いものではない。自分で洗いたくさけば多少高い値で洗濯場の人へゆつてとも見える。普通洗濯にはその主任がいる。その大上元をなすだけ深瀬水井る。

一九四五年的終りまでにスエーテンではこうして、協同式洗濯場は二百どおり、更に教養と木造改修中であり、今協同組合は次々と新たに建設されさせていた。この商業の發展ぶりは極めて機械化経営をいたりしたのであつて、スエーテンは本計画に大成功をおさめたといつてよい。今建設中の洗濯場はすこぶるよい設備です。二く實際的な通切は機械のからゆるもののより揃えたのであるスエーテンはその年越して洗濯力がもしてこの計画とかねらす努力がせるだろ。

主婦をも之今一つの原因ニヤウの蘭西式の洗濯場が博した一派か

らの支拂である。まず第一には、國家が毎年公債債の中から建築補助金を出してくれる。これが「新有農産委員会」が配給するが、大ていは一万から一萬二千クローネと位だ。委員会は國家設立した条件の監査を監視する責任がある。この補助金の外にも、国家は機械設備の購入料を還付する制度がある事を許して協同式洗濯場の社員を助けている。この還付は費用の八割まで、しかも特別の事情があればうち二割は特例としてよい。市当局も又協同式洗濯場には附りまとつていて、財政援助をしてている。例をあげると、アンゲルイの洗濯場はストックホルム市長から、建築に要した金額の八割五分の還付を三分ニ厘五毫といふてある。手頃な利率で借り受けている。

こうも大きな成果をこなす比較的短い期間にどうして達成されたのか——協同式洗濯場の者が出したのはつい一九三七年のことだ——と尋ねる所人があるとすれば必ずしもスエーデンの組合本部が問題を處理するに当つて示した決意と構想力によるものだといふのがそれまでの考え方である。

次にデンマークの運動も同様の洗濯場をたてる工事を希望している。

ドイツは戦前、さきづきの共同の洗濯場があり、その多くは婦人団体に、或るものの場合は協同組合によって運営されていた。スイスでは個人会社で移動洗濯車を目前して農民その他に貸出すのである。いざか盛つてゐるのは大昔筑波郡で、この方はお隣各の洗濯物を庭個々洗つてくれる。イギリスではこうした類の相当数が種々の協同組合によって運営されている。

スイスでは婦人団体が労力節約と省石有用な器具や施設を共同使用に供しているが、此北は例えばパン焼が機、メリケン粉搗機、煉瓦場磨き場、ソーセージ盤盛機、罐詰缶密封したり、スマッシュを切つたりの機械、食品保存用具、骨粉工場などである。

### 骨粉工場

近年米国でかなり盛んした協同活動の新形式は個人用の小耕がついた冷蔵貯蔵庫である。これは個人の家にもあるより小笠原横濱企画の同じ原理によるものだ。温度はいつでも適度で多忙にも恵まれてあり、一家の貯蔵料は、自家耕と多量に貢与せばどうともいわず、必要なときまで支那に貯蔵される。こうした場合にはいつでも必要な食料としては黒鶏肉、野菜、果物がある。一九四一年にはこうした冷蔵室は三千二百あつた。協同組合式のものは会員からの費用をとらず、拂込金と施設費の差額は会員負担で毎年配当金として返される。

機械器の技術傾向や共同の洗濯場の者へ方針に対する人とある、女には機械を正しく操作するがわかるまい、規則を守らんとするまい、又家庭よりもものは機械のほうにいつつと規則正しく運行するとは限らないからさきづき勝利争りを争つことは行きまい。どこの人々はあやめからである。こうした施設を利用するだけの知識が家庭になく習得ができないといひところが本当とするば——この技術者はすこぶる難解とあつた——それが古の二点、協同活動の意義や福利について一層の改善を婦人達に施す理由ありといふものだ。たゞ一人では何程も直しがれないので個人でも、皆で一緒に仕事をするのが望む目的——この場合家庭から苦役作業を放逐する——と達成できるヒトコト本ほつきりつかせなくてはいけないのである。

この種協同組合の施設が成功するためには規則の出来がえと会員の一斉教育にかかる所が大きい。会員相互の間に協同への意志と友愛と諂美ある古の精神は克服されざり。共同の施設の利用者が多少とも皆同じ標準の出でる事と方事の多くはこれが要である。

著者の知つてゐる一例に米国の小笠原企画の二点がある。二つは投人の奥さん連中がマイロンの機械を共有している。誰も機械の運転に専念せず、そのマイロンは春まで一年づつかかるのである。

期間中は家の主人が鍵を失い、翌年はさもひこが別家の鍵となる。修理師アイロンを必ず持っている人が持つ、こわしたるが故であつてかまわざい。船員は毎日街に店平均するのだからと彼女たちは思へてゐるのだが、このエクは忠誠と互讐の精神は、私達全部の心事本となりるものである。

農村婦人の団体が機械器具の共同使用を企てた以上、協同組合婦人と同じく出来る善はあまさいか。機械の整備場の方は別として、何人かの婦人が機械アイロンを共有するなどは大変便利であれば、婦人協同組合長は作る手初にして手に手頃な代物を出すのがちがう。一つの機械が高く立しても毎日は使われない時ばかりで、協同組合婦人が共同購入して贈りに候つことは有るまいがどの技術が遡れてくるのである。彼女たちはこの目的の爲にあらゆる設備等をもつて組合を作ることが出来ようし、その機械は並二にすら見えぬが、どうやつて毎日運転が出来ぬか、修理の仕方、予備部品の購入、必要な取扱や他の障害についての規則を設ける事が出来るのである。

#### (4) 機 構 の 魔 一

器具が機械化されたるより大変な福音にちがひない。燃料を計つたりする台所用スカーンが大きさ、容量狭一升していたときや複数台ニシテあらう。現在市場にあるスカーンは同じ名前の中でも余りに重いすぎて、一つが十グラム入るかと思えば他のは同じ材料が十五グラム、いや二十グラムも入つたりする。ツソフや卓皿、未だ以テ子ウ鍋、深皿、平鍋等が標準の大ささに拘つていたりするには異合が無いだろか。こわれたりおじゆつた鍋蓋はとうなれば難作をなく取替が利く。おもろんそのエクを機械化一は毎日使はれる器物にだけ適用されるのである。好みや流行に大きく左右される食器用の食器等には向かないであらう。この場合に付形や大きさの均一性は何か少し相違のものを使ふことからわれの欲求を満足するなどに有るかとせば。しかしこ所過度のみち主婦の生活の機械化が可能

などとは極めておかしい。布地の車と整理用リネルの寸法共に松又複合化すべきである。一旦この点が行われれば、車巻機や、又家庭用度々で家庭全体が車の大きさのものとなるから、主婦は面倒の懸念をしにいりる有り物を整頓する事が出来よう。工業より少しおは自ら率先して機械化を実現する事は多い。まだ立ちがしはじめるのは、そしてその主を轉がしはじめるのは、そしてその主を製造者の方許可を送り二名で主婦連の希望が提出されたる由無にして、採り上りられたる名前には主婦の団体が必ず記載である。

#### 幕 前 の 任 务

##### (a) 主 婦 協 議 会

製造者側と主婦側の両方に出したい意見や提案忠告状山とある想から考えて、意見を率めて検討し、専門家と組んで、その溶解を教し、及び工場見習い委員が行わねば後では、さきどま吉根室を先に実験出来る人との前まで持出するが、それにつき機械の操作は、非常に必要である。エーテンの運動は二の表へ方を実行に移して、一九四九年いわば「主婦の協議会である。家庭委員会を設置した。下記は本協議会の二人の書記、グレタ・ベルクストローム夫人、メリーハーベンエリクソン婦人の報告書よりの抜粋である。

「本委員会は家庭の種々の動向と経験あり専門知識ある人々を以つて構成されている。出来る限り古い基盤に立つて常にあつて町や村の主婦の声りや各種政治学校の代表者を右にと接するの手本にしておれた。

委員会の仕事が既に出来あるものとみなすべく、下記の事項について本委員会が設置にあつた。即ち、食器、家庭用品、工業製品及び被服品、織物及家具、農業労働者等の共同生活活動（協同組会老農所、洗濯場、海山物、その他の出版、雑誌、収容者である。二月から小委員会は月に一回か、二ヶ月に一回開き、需求と供給との何れも聞く、全体会の委員会は年に一二回開くのである。

本委員会は主婦たちを曰く見ゆさせ、家の中を修むれる器物の生産上実際に構成的で碧運を開始を持たせる場の最初の会である。その意義を結果の一つは、個々の主婦達が自分の室について開心を持つている事が誰かしらひること、及び家庭の切掛けがそのときまでの形をがらに以前より高く評価され認められる事であつてこれが最も最初に始めた点である。小委員会の機能は宣傳を与え、活動を実現させることなどのである。甘草の領域はないが、小委員会にわかるといふ點各分野に集中的な実践活動が繁荣する。

委員会は産業と販売本部の各種部門に対する委員会にとつて主婦達が新しい品物の生産とか、もつと建議書を仕入れといった提案を行ふ事である。委員会は家庭や家族、又は資金体の利息に対する問題についての運動の首領を立てる。主婦たちの討論が有用否思想や意見を生み出す場合は非常に多い。しかしニコラシキには向にも本らずに終るのが常で、それはニコラシキが適当な方面に依る所によるとの出来る中止条件が多い事である。委員会の任務は主婦と、生産者や商人の間のかけ橋となる所にある。一九四四年に委員会がヒリ上げた東西は次の二つなどである。即ち小麦粉のビタミン添加キャンペンティ、ココア飲料、炒コーンフレーク、協同式洗濯機、米前及煙草前、鐵製缶、家庭用缶、新式度むき磨丁アルミ、シチュー鍋の改良装置、コーヒー赤しと茶葉の改良提案、家具、道具、農政学校の教諭施設、学校調理場用展示材料。或る小委員会では産業本部の映画部と協力で「家庭の設備」についての短篇映画を一本、同じ種類でやる美しい教育映画一本。及び専門知識に関する短編教育映画一本をつくる年数を頂ねられた。又「主婦と宣傳」と題して販売本部の諸部門の部長や部員、宣傳と革新装置との討論会を開かねざりした。其の外の討論会は計画中である。」ニコラシキ型の活動ニコラシキ主婦協議会といふものにいつて何より最初が印象者である。ニコラシキ活動が如何なる人に諸方面で努力を払はせてくれるのだ。協議会の会議から出でてくる数々の議題は直ちにそれを実現する方面に進る事がある——その名は本日の工

場にて開日本有いし、又協同組合の商品を販賣する团体や協同組合の出版部でも有い。何が協議会自身が必要な仕事をやわねばならぬことはないめど、ましく、他の者にそつて色々な仕事を実験する事が以てじつうこと、この事實は時間と仕事の非常に節約である。協議会が提案されたいる装置や調査が困難であることは有い、独立の調査機関として動くのである。ニコラシキした協議会が主婦たちにひとつと非常に有用であるのは輕いのない事である。

私も各種の協同組合に於ける婦人の協力を確保する方法等は日々有りある。それらの団体こそ主婦の體系を、若く品物の生産分配といった事柄について主張しきる所だからである。併しながら、主婦一人々々の個人的な体験や口報告や口述しただけでは叶へかねる問題もある。洋服团体による研究が不可視となり場合は多くもあり、しかニコラシキとは、カリに会の運営をつゞめる婦人にしたところが、その人達個人の力でよりかかる所の少ない。主婦協議会とはニコラシキ研究や調査を請求するにあつての目的の団体たのである。協同組合委員会等の婦人委員会、そこまで、協議会の意見を支持しておられる都道府県、工場なりでそれらの業者實地並れる事に盡力する所を母體とも得るべ事可あらシ。

スエーテンの主婦協議会の動きと比較した場合スイスの協同組合連盟の家事検査委員会の仕事ぶりはあじて妙味だ。しかしハーフヒルにて、森山ちはつづられたのさあつて、森山さんはこの検査委員会がスイスにおける主婦の協議会まで差異することを希少者である。委員会は一九四二年に発足したが、大急に解散され、ふつゝ月に一旦開かれる。これは協同組合産業で扱われる品物の検査、家庭内での常用に適してしかも実用的かどうかの検査を行つて居である。化学分析の仕事も検査に由、この方は、スイスの連合の研究所で行う。検査委員会の仕事は次の二つ大要に行われる。試験工場名は森山以外甘向一つ中身立體的する取のありヨリまた蓋して委員会まで送られる。各委員はその品を自分の手で使つて見る。證明書に記入に

従い、あらかじめ三つある特性的題目をとて試験するのである。次に批評や意見は検査部門の部長の許可を要する。大きいの場合問題は被検査金額又は被検査的た業者の出でくわべる事なきである。現在までのところ各種の検査が下記の品物について行われた。石けんと粉末洗剤、粉末クレンザー、漂白ソーダ、<sup>(スチール・ウール)</sup>鋼<sup>タング</sup>卷(タング)、錫<sup>タング</sup>卷(タング)、錫<sup>タング</sup>錠(タング)、ペーパンズペルカ、化粧石けん、粉白粉、アリシの練、ナヨコレート、鐵鑿、練歯磨、ラード、鐵精中板委員会名又、薬局薬、ビカ新型萬能薬、漱粉上カリムニヤ葉の、大用錠、大用レモンとほつた新しり製品が一般使用上適したとの本領水を調べた。この外委員会では特性的作り方や風呂につきに従事者調査を行つては主婦に注意を乞うて貰う。同じくそれが結果どうかたば協同組合の家庭組合上で、委員会の保証つきとして推進するのである。又新同組合製品の包装や宣傳費についても主張をしてくねでいる。近く最近では種々の方法によるおひじいコヒーの入浴料の教導が一時出来上つたが、委員会前半仕事が近々に裡切たどるところなどとはあるまいと思ひでいる。

### (b) 檢査機関

一九三三年以前、ドイツには全独主婦組合連合監督による検査所が二つあつた(技術的並實業的家政研究所、ライプチヒ)。この施設が検査して認可した旨には一枚印を証明する「太陽印」のマークがついて、進めるに去るが販賣店のものであるのが主婦は一眼でわかるようになつてゐた。主婦は「太陽印の品がすぐて信頼可靠をへども、のち専門家に経験を積んだ主婦たちが推奨するものである」とを承知してゐた。惜しいことにこの全独主婦組合連合はナチスの非難と共に解体され、検査所がその結果をもつてやらへこゝに種を附かなかつた。

米国ではいわゆる財團法の「<sup>シンハスピーキング</sup>重り家政」は研究所をもつてあり、これがよりとおもに各種の家庭用具——原材料からクレンザーに至る、

又農作物から化粧品に至るまで——と製造業者の求めに応じて検査してくれる。鑑定上は本告される品物はすべて「<sup>シンハスピーキング</sup>重り家政」印といふ様で、「本西洋に就て相異の部品お取扱もしくは販賣のお供差しを致します。」との相場がついでげる。

西欧諸國の税の制度を何かしらせめている國が多い。「西欧の税制」これが「農業技術研究会所検査」についての説明書は一例である。

### (c) 家政研究所

以上ものが最終目的は家政研究所の設立にあるべきである。これは専業主婦協議会と検査所の機能をお合わせしつぶるのである。スイスでは次のようないくつかの国がたつてゐる。第二次スイス婦人會議に提出された本議題は中央並に地方政府家政研究所を設立し、そこでもつてテクニカルヒの國立技術院の担当部門、例えば機械、建築、鉱石検査、穀物及工業過程部門と、又建築家や工業商業環境技術の各個体と協力する所としと要望した。その研究所の機能としては、

1. 家庭用具の選別、家用用検査、化学製品並に穀物の検査をする。認可した品には保証マークを附すこと。
2. 器具機械の製造にあたつて添註事項の明細を作成する。これは担当部門に送ること。
3. 生産計画についての添文事項の明細を作成する。(殊に倉庫や保管場について)
4. 日常家政用具の規格統一を促進する。
5. 研究所の活動について報道機關に資料を提供する。
6. リーフレットやパンフレットを出版する。
7. 家政技術講習会を実行する。

最後に家政研究所に附屬して家政研究所をもつけること。  
ニ松はもち古を長期計画であつて、家庭の合理化と主婦に教文と開拓と自己教育をもたらすためにこれからあらゆる方法と相輔連して行わねる事のものである。

## 協同組合運動の批判

協同組合運動が、主婦協議会とか、農業振興所、家政研究所といつた施設をまた自身の為に改修すべきものか。些ことより、協同組合はただ販賣を止めるだけ他の商標団体の協力によつべからぬか本国國に於る。筆者の意見では、少くとも主婦協議会の限りでは、協同組合の方で既に怪物の分野やサービスや、主婦よりの苦難相談等の経験がつたましいことではある。今更他の団体と競争せ事はあり難い。これは向ふ主婦協議会が個人産業に対して、意圖を基づき勧告を行つては本ほどのう缺點はないのである。とにかく要くの場合はそれは協同組合に歸している。商店の問題であるから。

ところが振興所の設置などあると確はいさざか思つてくる。こゝで振興所を頭流本部や四合連合が開始すべきか、それとも個人団体とか、技師、建築家、商人、取人等の関係者の等が始めたのが良いかということが問題となるのである。後の場合はどう個人モードやその他の協同組合団体が各種の活動において重要な役割を担するをあらうことは明白である。カリガラム協同組合振興所などねば、運動の導前の第一事件が主婦への奉仕におけるニヒリ断然実證するに相違ないから非常に大至き宣伝価値がある事が。それならば自然商店は試験のみで振興所認可の品物だけを仕入れる。「公正な取引のスローガンはニシレテナニ分ビ實現を是ニシニセラム」のだ。このよう本計画はまだ、運動の主目標が金融各社の家賃——これが最も多く主婦のニヒリある付地以上——に於して、誰も限りの最高の賃仕立するもので儲け仕事とは長いといふ點を実証することとなる。一方、協同組合の振興所といえば、協同組合の生産業者との契約をつくりから金銀色がつかずにはじめられる善はあるがいよいよ対応題もありうるであらう。もちろん協同組合の振興所内において、財上に商業上の斜面から横的、本来の目的の実現が妨げられる場合もありうるのである。

それそのため、国の情勢にあひて、モードなり、運動なりなど必ずしも最もよいことを決定しなくてはならぬ。大切なのは、速か

に商業を行わねばならない事、それに消費者の運動はどこで最も今までよりももつとずっと家庭の合理化に意を注がねばならない、ということである。

この點を率先して商店の分野について單なる商店以上の何とかあるニシニセラムに示すとすれば、それは商店自身の利得となるものだ。主婦協議会が第一段階か、それとも家政研究所を発足させるべきかはそれほど急ぎの重要な問題ではない。

附言等のは、会員の主婦等にとって利益となるような何かはつきりした説明をやらねばならない。そのことだ。はやかれおそれれこうした施設は専門よりの線に沿つて発達して行くだろう。その道筋には直標が立ち活動の分野には印しが引かれてあるのだから。問題はただそのざまざまな段階なのだ。

いつでも主として差しむければ在りき事は、どうすれば家庭の仕事を簡素化できるか、軽減できるか、合理化出来るかとの眼鏡の方策を収集すること、またどうして収集したものを広く世に知らせて、そのため人々の統一が利益を拂し、家と家族の福利の為にそれを利用するに日本出来るようになり、ひいては国民經濟の渦体に資するというその事なのである。

私はさは幻想を抱いてはならない。主婦の財場における方針、整備やその一般条件を検討するニヒリは非常に繁重な仕事である。二タレ研究が結果を挙げるには極度の精闢さを以て行わねばならず。

又これにから費用も掛りである。そこで各田とも開拓所は數ヶ所設けるニヒリは決して余裕ではない。現る者は、田舎で特に大半が開拓者、又或百半の者は都會の家庭の問題の解決にあてる事も出来る。半農の調査を放棄とする家業との親類は多いから、色々な場所で同時に研究を以て結果の報告が出来るなら良いがよろしい。各田村長等の間お互に切磋されて來たので、私共は呂物の交換ばかりにとどまらず、経験や情報や専門上の知識の交換まで發展させようの努力しなくてはいけない。これも又既に國際的に大規模な組織の出来ている協同組合運動にとつては特にふさわしい仕事である。

例えば国際協同組合婦人連盟は国際団体の行つた家庭問題の研究結果を叢書収集してそれを他の加盟モードに知らせ、世界中の協同組合婦人が得られた結果の知識におくれをとらねりより上する在席を負つたり等しいのである。ニホンモードの婦人会員相互間の叢書収集や財経験意見の交換は私ども皆に於て非常に価値のあるニシキである。一国の協同組合婦人は、他の国で出来た調査センターがこれまで主婦の増加を整めたかわからせるニシキが出来るとすれば、私ども尚培的仁諸国民間の国際理解を促進しているのである。かうしてニシキ一つの「」上に第4局を訪れた客人を寒めしと一陳官はニシキ述べた。世界の平和は勞働者及び勞働條件の国際的組織を通じてはじめて獲得されるのです。もしニシキの私共の努力がより能率的生産性をして主婦と生産者の間に協調と理解をもたらす事が出来るなら私どもが相手の草創の基礎をおこし助となつて居るニシキは離れてある。

以上が解説せられたがたが、又家事研究の面における私どもの任務の重要性について総括して頂けたとすれば、本文はその目的を達したといえるのである。

編集兼 運行人	1957年2月28日	謹寄 発行
印刷人	1957年3月1日	
印刷所		労働省婦人少年局
有限公司		労働省婦人少年局
		東京都千代田区富士見町 一大 協立社庄原印刷所